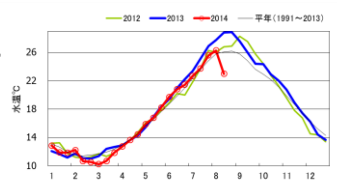




鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽  
(電話:0858-34-3321)

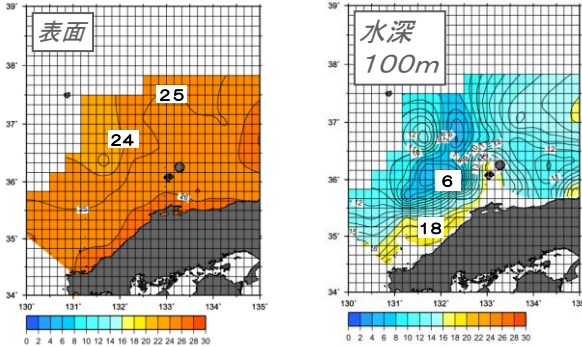
8月中旬 23.0°C

平年より3.1度低め



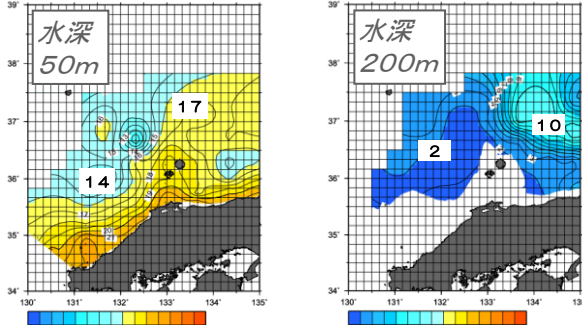
発行 鳥取県水産試験場 (電話:0859-45-4500)

試験船による海洋観測結果 (8月上旬)



鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域は25°C前後で先月より2°C上昇し、沖合部、沿岸部とも平年並の値です。

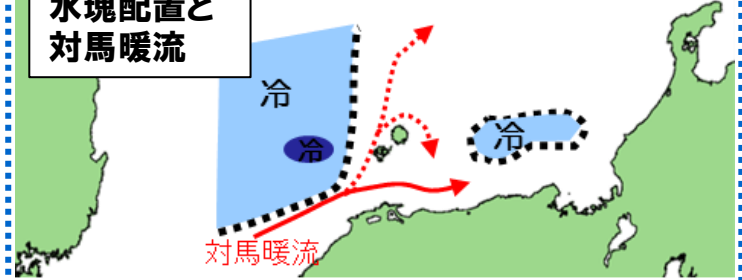
隠岐諸島周辺海域は16°C前後で、先月から1°C上昇しました。



鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域は19°C前後で先月より1°C上昇し、沿岸部及び隠岐諸島周辺海域は平年並、隠岐諸島西側海域及び東側海域には冷水塊があるため平年より2～3°C低め、隠岐諸島北東海域は平年より1°C高めの値となっています。

先月、鳥取県沖から兵庫県沖合の北緯37°00'付近にあった暖水塊は、30°程度北へ移動しています。

### 8月上旬の水塊配置と対馬暖流



- 鳥根沖冷水の沿岸への張り出し：鳥根沖冷水は先月に引き続き張り出しが強く、隠岐諸島西方海域では接岸傾向にあります。
- 沖合の対馬暖流：対馬暖流は鳥根沖から隠岐海峡を通過する流れが強く、鳥根半島西端から隠岐北方に向かう流れは逆に弱くなっています。

\*県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ（鳥取県水産試験場で検索してください）に詳しく掲載しています、ぜひご利用ください。

### ★関西本部からのお知らせ★

#### ☆あべのハルカスにて『鳥取県』PR中☆

#### 『境港天然本まぐろ』の解体ショーを行いました！

鳥取県関西本部では、大阪の新名所(日本一のつぼなビル)として賑わっている『あべのハルカス』において、定期的に鳥取県のPRを行っています。

6月には、「境港天然本マグロ推進協議会」に協力いただき、鳥取県の夏の風物詩「境港天然本まぐろ」のPR販売を行いました。

鳥取県境港から届けられた50kg台の立派なマグロを鮮やかに解体！「天然」「生」「本マグロ」のみずみずしさで迫力に多くのお客様が見入っていました。

今後は、9月にハタハタ、11月に松葉がにのPRを行う予定としています。(本田)



### ★水産課からのお知らせ★

#### ■今月の漁業許可証更新情報

平成26年10月までに許可の更新が必要な漁業種類は以下のとおり

平成26年10月14日まで・・・機船船びき網漁業(わかさぎ機船船びき網/中海限定)

平成26年10月31日まで・・・まき刺網漁業(たいまき刺網、1そつまきぼらまき刺網、2そつまきぼらまき刺網)、固定式刺網漁業(三重網)

#### ■遊漁船登録者の皆様へ

遊漁船登録に保険期間等の変更があった時は、変更申請をお忘れなく

### 栽培漁業センター

#### お待たせ！第2回とと塾でイカを勉強しましょう

3月に第1回目のとと塾「曳縄釣」を開催してから準備が出来ず申し訳ありません。また、第1回目には、出前勉強会を合わせて100名以上の方が御参加いただき、誠にありがとうございました。

今回、第2回目として、とと塾「イカとLEDを勉強してみよう」を開催します。イカがどう集まり、どう漁獲されているのか？LEDで本当にイカは獲れないのか？といったことから、活イカマニュアル、これからのスルメイカ(しまめ)、ケンサキイカ(白いか)、ソデイカ(赤いか)の漁況を説明します。なお、第1回目を栽培漁業センターで開催したところ多くの方に集まっていたため、非常に狭かったため、今回はあらかじめ2会場で開催します。

#### 《とと塾》第2回目のテーマ「イカ」

【東部→中部会場】

日時：平成26年8月29日(金)午後2時～

場所：美郷→鳥取県栽培漁業センター会館

【西部会場】

日時：平成26年9月第1週の土日 ※改めて連絡します

場所：御来屋漁村センター大会館



なお、開催を漁業者が参加しやすい「海況の悪い日」としたいため、開催日等の情報をメール配信する予定です。そのため、参加希望者は所属組合(支所)からメールアドレスを登録していただくようになっています。御興味のある方は、参加登録をしてみてください。出前勉強会も承りますので、下記担当までお気軽にお声がけください。

(担当)太田:電話0858-34-3321

### 水産試験場

#### ～2014年大型クラゲの来遊は？～



#### 【本年のこれまでの大型クラゲの出現状況：水研センター等】

○黄海(クラゲ発生海域)での分布密度は前年に比べかなり少ない(表1)。

○東シナ海西部でも昨年同様に少ない(表1)。

○対馬海峡では、昨年よりも非常に少ない(表1)。

○山陰沖合一斉調査においても出現はない(表1)。

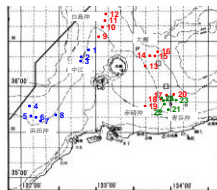


図1 試験操業調査地点

#### 表1 海域別の大型クラゲ分布状況(水研等)

海域	今年 (個/100m <sup>2</sup> )	昨年同期 (個/100m <sup>2</sup> )	出現のなかった年 (H20・22・23) (個/100m <sup>2</sup> )
①黄海 (下関～青島)	7月19～22日 0.0005個	0.32個	0.1個
②対馬海峡 (釜山～博多)	7月29日 0個	0.0068個	0.001個
③東シナ海 西部	7月19～25日 0.0001個	0個	—
④対馬周辺域 (ネット・カメラ)	7月19～25日 0.00027個	0.57個	—
⑤山陰沖合 (魚探・ネット)	7月22～30日 出現なし	魚探反応7個 ネット7個	—

#### 【対馬定置網の初入網】

○対馬の定置網の初入網は、少出現だった昨年より

さらに10日遅く8月6日。

#### 【隠岐周辺域での海底漁期前資源調査結果】

○8月18日～のトロール調査で入網はなかった(表2)。

#### 表2 試験操業入網結果

年度	採集量	出現率
平成21年 (大量出現年)	306個	92%
平成24年	29個	46%
平成25年	40個	43%
平成26年	0個	0%

#### 【まとめ】

- 水研センターの広域調査、各県調査、沖合漁場での出現状況、沿岸定置網での出現状況と、ほとんどの調査でまとまった出現は確認されていません。しかし対馬でまとまった出現が確認されないにもかかわらず、9月末に鳥根県で大量出現し、以降広範囲に年明けまで出現した例も平成19年にあります。
- これまでの調査結果などから急増の可能性は低いと予想されますが、今後も引き続き注意してください。

日本全国の大型クラゲ出現状況及び動向は、以下のホームページで確認できます。

漁業情報サービスセンター：<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>

日本海区水産研究所：[http://jsnfrf.affrc.go.jp/kurage/kurage\\_top.html](http://jsnfrf.affrc.go.jp/kurage/kurage_top.html)

#### 「第3回 水産試験場 海と魚の学習日」を開催！

- 【日時】9月20日(土) 9時30分～15時 雨天決行
- 【場所】境港市竹内団地107 水産試験場 駐車場約30台
- 【内容】カレイ類の解剖教室(午前・午後、人数制限あり)、カニの甲羅積み競争、第一鳥取丸見学、タッチングプール(境港総合技術高校)、干しハタなどの美味しさ試食、スラリーアイス体験など



平成26年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

## 西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136

電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424

境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

## 共和水産株式会社

取締役会長 相田 仁

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地  
TEL 0859-44-7171 (代) FAX 0859-42-6630

